



見張り申しあげます

暑中



みなさま 今年の夏を いかがお過ごし  
でしょうか。

音空は心地がいいですが 体温を  
超える暑い日が続くのは 厳しい  
ですね。

どうぞ 熱中症対策をしっかりと  
元気にお過ごし下さい。

「なつやすみの はなたば」は 天気を記入したり 絵を  
加えたりしていると 子どもの頃の夏休みの日々が浮  
かんできて わくわくしてきます。

60数回の夏、60回の夏休みが 重なるようにして 作ら  
れた 私の夏体験、夏の意味です。

小さかった ある夏は、家の中で一番涼しかった 廊下で、したく  
ない昼寝をしないと いけなくて、ごろりと横になりながら  
地面を歩く アリたちを たぶつり眺めさせてもらったことが  
ありました。夏中 くり返しアリを見ていたので アリの生活が  
身近になり 特別仲良しになった気がします。

ただ ただ 相手に立ち合い、その相手が 語る物語を そのまま  
聞かせて (見させて) もらうことが 「特別大切なことだ」という  
ことを 教えてもらった 夏体験は、今の自分の生き方につながっ  
ているのだと思います。

先日 『木を植えた男』を 紹介させていただきました。  
“かみさまの ような みわざ” ... に 感動しつつ、

思うに、誰もが 一人ずつ それぞれに  
人生をかけてする 何かが 与えられ  
託されているのだとも 思いました。  
子どもたちの 今年の夏体験が、その  
子の未来に (世界の未来に) 深くつな  
がっていくのかもしれない。

園長 弁光 泰雄

